

kofuyukai
古布遊会

「わいわい楽しもう」 を合言葉に



▲来場者に作品の説明をする会員

「古い布で遊びましょう」という思いを込めて名づけられた古布遊会(及川幸子代表)。及川さんが個人で展示していた作品を見た方々が、「パッチワークに挑戦してみたい」という思いから集まるようになり、会を設立。現在20人で活動しています。会員の年齢は40代から70代までと幅広く、遠くは美瑛町からの参加も。週2回のペースで集まり、楽しくパッチワーク作りをしています。

年1回、図書館で毎年開催している展示会には、古くなって使わなくなった着物や浴衣など

を利用した「エコ」作品を展示。バッグやベッドカバーなど、実用的な作品が所せましと並べられます。中には1年をかけて作り上げられた力作もあり、展示期間中には400人が来場しています。会場では、心のこもった手づくりの作品を目の前に、作品の説明をする会員と来場者の会話が弾んでいました。

「それぞれ思い出のある古布を手で縫い合わせることで、世界に一つだけの作品ができます。古布遊会は、技術的なことより、みんなでわいわい楽しむことを大切にしながら活動しています。パッチワークは取り組みやすいので、興味のある方はぜひ一緒に楽しみましょう」と話す及川さん。

会の運営にはできるだけお金をかけず、会員に無理のない範囲で楽しく活動することを基本としています。機会があれば他の場所でも展示会を開催するなど、多くの人にパッチワークの魅力を伝えていきたいと考えています。

